

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・新規出店のサービスエリア等では、短期間にもかかわらず、かなり売上が伸びている。そういった点から、今後、売上は伸びるのではないかと思われる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位に関する当地の位置づけから、参拝者の来客が増える。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・改元により参拝者が増えるものと思われる。
		百貨店（総務担当）	・改元や皇太子殿下の御即位でお祝いムードとなり、消費ムードも明るく、また、10連休前の消費需要も引き続き高いものと想定される。ただし、商品搬出入での物流面の混乱が起こらないか懸念される場所である。
		百貨店（企画担当）	・この先数か月は、皇太子殿下の御即位の祝賀ムードやゴールデンウィーク10連休による旅行関連商材ニーズの高まりにより、消費者の購買意欲が高まると見込まれる。
		百貨店（販売促進担当）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要を喚起するプロモーションが加速していくと見込んでいる。
		百貨店（計画担当）	・現在の好調な状況に変化がない上に、消費税引上げ前の駆け込み需要の動きも出始めてきている。
		スーパー（総務担当）	・お彼岸のおはぎの予約数や売行きが伸びている。
		スーパー（支店長）	・気候も良くなり、客足が伸びる状況になってきている。間もなく改元で、機運が良くなりそうな感じを受ける。期待どおりに景気が回復することを切に願う。
		スーパー（販売担当）	・新規客をなじみ客にする大事なときである。夜11時までの営業なので、主力品を遅い時刻まで欠品のないようにすれば、やや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・改元に伴う大型連休など、来客数が増加するイベントが控えており、10連休前後は来客数の増加が大いに期待できる。
		コンビニ（エリア担当）	・皇太子殿下の御即位、改元、10連休などにより消費が活性化されるのではないかと見込まれる。
		コンビニ（店長）	・平成から新元号に変わるので、それによって、人の動きが消費行動に良い面として出てくるのではないかと期待している。
		コンビニ（本部管理担当）	・コンビニなど小売業界には、ゴールデンウィーク10連休という大型連休がポイントとなる。一般的にはゴールデンウィーク前後も売上が伸長し、天候さえ良ければ4～5月の売上は前年同月を超えると思われる。ただし、今後景気が後退していく可能性があるため大筋で予期される昨今、先行きには不透明感がある。
		家電量販店（店員）	・消費税引上げ前の需要増でにぎわうのではないかと見込む。下見客が増えているようである。
		乗用車販売店（営業担当）	・新年度は新型車種が早々に発売され、新規来店客も見込める。消費税引上げ前の需要もあると思うが、増税後にも新型車種の投入を控えており、落ち込みはないと思われる。
		一般レストラン（経営者）	・希望としては良くなれば良いと思う。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・今回は、天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位、改元と、崩御による時代の変化ではないので自粛ムードはなく、新時代の始まりという心理的解放感が良い刺激となり、消費税の引上げまでは、上向き傾向になるとと思われる。
		観光型ホテル（支配人）	・2～3か月後は月ずれによる大型案件の受注という要素もあるが、他にも受注しており、特に宿泊宴会が前年同期比で1割強の伸びをみせているため、やや良くなるとみている。新年度のスタートダッシュに期待したい。
	旅行代理店（経営者）	・大型連休を前に、徐々に予約が増えてきたように感じる。	
	旅行代理店（経営者）	・平成も終わり、新しい時代が来るということで、景気が良くなると思う。	
	旅行代理店（経営者）	・改元に便乗した各地でのイベントやキャンペーンなどが始まれば、旅の計画も増えそうに感じる。当地区では新たな航空会社の新路線増便により、各国へのレジャーやビジネス客が期待されている。	

旅行代理店（営業担当）	・イベントの多い年のため、少なくとも2020年までは好ムードな市場となりそうである。台風などの不可抗力的な要素の影響が心配である。
テーマパーク（職員）	・ゴールデンウィークの10連休、東海北陸自動車道の4車線開通がプラス要因になる。
その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・全国的に鉄道各社が企画列車を立案し実施しているなか、当社でも既存の観光列車や新企画のラッピングなどへの取材を受けており、その反響を期待する。
美容室（経営者）	・12月ほどではないが6月頃になると、3月にパーマを掛けた客の髪の毛が伸びて来店するため、12月ほどの来客数ではなくても、良くなると思われる。
美顔美容室（経営者）	・4月からキャンペーンが始まるので新規客が見込め、商品の販売につながる。
美容室（経営者）	・ゴールデンウィークが10連休の人が多いため、出掛ける前に来店する客も増えてくると思われ、今よりも少し良くなると思う。
その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・個人住宅の新築物件や企業工場の設備拡充工事など、2か月先に施工となる物件を既に受注している。
商店街（代表者）	・相変わらず、会社関係の仕事が増えてきていないところが懸念される。
商店街（代表者）	・消費税引上げ前の駆け込み需要も余り見込めない。売上増加が期待できる要素は何もない。
商店街（代表者）	・ゴールデンウィークは、レジャーの方に金を使うので、余り消費の方には向かないと思われる。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・余り良くなる原因もないので、このまま推移していくのではないかと思う。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・やはり当地方は景気が悪い。いつも記述しているように、市内の商店街が消えていく。商売の後継者がいないし大手の有名店舗も入ってこない。駅前再開発で数年先に当地方の景気が良くなればいいが、今から余り期待されていない。これから工事に入ると、ますます落ち込むのではと思う。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先を考えるに当たって、新しい元号で売上が上向いていくことを期待したい。しかし、現実面から考えると、個人客、法人客共に堅実な経営、つまり、無駄遣いを防止して使うところには使うが控えるところは控える。したがって、今の状況がしばらくは続くと思う。気持ち的には伸ばしていきたい。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・国内外の景気に関しても、政治面に関しても、非常に不安定な要素が多過ぎて、先行きが見通せない。
百貨店（売場主任）	・今月は、大学の入学式用の靴を買いに来る家族客や、友達と来て一緒に買物する高校生がいるが、売上は今一つ伸び悩んでいる。靴のメーカーも在庫を余り持たないので、在庫切れが発生して、売上には厳しい状況である。
百貨店（経理担当）	・企業業績と雇用、所得環境の悪化が景気の更なる悪化をもたらす一方で、消費税の引上げに伴う駆け込み需要が盛り上がりをもせるため、結果として景気は現状と変わらないと考える。
百貨店（販売担当）	・ゴールデンウィークの10連休、消費税引上げ前の駆け込みがあり、需要はある程度期待できる。しかし、期待できるとはいえ一時的なものであり、継続して良くなるとはいえない。
スーパー（経営者）	・新元号に伴う効果に期待したい。
スーパー（店長）	・食品業界各社の値上げの実施により、家庭にはかなりの負担が掛かってくると感じる。客単価は上がるかもしれないが、買上点数は減少傾向に向かう。
スーパー（総務）	・前月より少しは上向きになっているが、売上は前年並みとなっている。ただし、客単価のアップにより保っている点が大いと思う。
スーパー（販売担当）	・この3か月では、良くなる材料があると思えない。
スーパー（ブロック長）	・ガソリン価格の高騰や数々の食料品の値上がりがあり、良い材料が見当たらない。
コンビニ（企画担当）	・東京オリンピックや春からのメーカーの値上げで、横ばいは確保できるのではと見込む。

コンビニ（企画担当）	・同じ傾向が続いており特に変化する要因もないため、この状況が継続すると思われる。
コンビニ（エリア担当）	・重点管理商品である米飯類の減少分は、ベーカリーやデザートなどのリニューアルで何とかカバーできている。エリア商品の米飯類の販売を強化する。
コンビニ（エリア担当）	・今月は良かったが理由が余り分かっていない。前年と比べて少し天候も悪く、これからも伸びるかというところは考えられない。おにぎりや弁当等の主力商品の動きは相変わらずさえないので、しばらくは横ばいでいくと思われる。
衣料品専門店（経営者）	・シーズン中に来店して必ず買ってくれるなじみ客次第で売上が大きく変わる商売を今まで続けていたが、そういう客が1人ずつ欠けている。
衣料品専門店（販売企画担当）	・一部の客が好調で、業者間の取引が動き始めている。
家電量販店（店員）	・来客数の動向が直近をみても上向き傾向にないため安心できない状況で、今後、回復基調にあるとはとても思えない。英国のEU離脱問題や米中の関税問題で世界情勢が良くなる傾向には余りない。
家電量販店（フランチャイズ経営者）	・大型連休も控えており、家電製品に掛ける金はそれほど多くなるとは思えないと見込む。改元のお祝い特需に期待したい。
乗用車販売店（営業担当）	・株価の伸び悩みやいろいろな物の値上がりもあり、賃上げは今年も期待できるが、景気が良くなる実感がない。
乗用車販売店（経営者）	・企業業績は前年ほどでなく、4月の賃上げムードも前年ほどの盛り上がりはない。
乗用車販売店（経営者）	・業種によっては10連休の恩恵があるが、当店には関係ない。
乗用車販売店（従業員）	・これから新入社員を迎え、さらに改元や10連休と新しい環境を迎える。新型車種の販売もあり気分を一新し、客との接触を増やしていきたい。
乗用車販売店（従業員）	・決算期も終わり市場は小さくなるが、4月に新型車種の発表もあり前年以上の販売台数は見込める。また、消費税引上げ前の駆け込み受注も出てくると思われる。
乗用車販売店（販売担当）	・今後も新型車種が今年は投入されるので、販売量は期待できると思う。
乗用車販売店（営業担当）	・例年4月は落ち込む月だが、改元に合わせた買換えがあるのではと思う。通常とは違う4～5月になるのではと見込む。
住関連専門店（営業担当）	・民間の設備投資については、先がみえず景気の縮小が予想されるなかで慎重になっている。また、個人の新築住宅、大規模改修やリフォームなどについても、過去の消費税引上げのような大きな変動や客の動きがみられない。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる様子が見当たらない。
一般レストラン（従業員）	・消費税の引上げ前で買い控えの傾向がみられる。
スナック（経営者）	・連休から秋の消費税引上げと、全く売上には期待ができないと考えている。
その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・2～3か月先は変わらないと思われるが、消費税引上げの影響がどの程度あるのか不安である。
都市型ホテル（従業員）	・予約数から横ばいと判断する。
旅行代理店（経営者）	・客の動向が非常に緩やかで、つかみどころがない。
タクシー運転手	・長い間、街の中の繁華街も人出が少ない。遊びに來たり飲みに來る人もかなり少なくなり、増えてきてはいないので、まだ変わりがなく、現状がもう少し続くと思う。
通信会社（企画担当）	・消費税の引上げを控えて沈滞ムードがあるなかで、改元によるお祭りムードでどの程度盛り返せるか。当地では、自動車関連の先行き不透明感から、基本的には節約ムードで推移するものと思われる。
通信会社（営業担当）	・繁忙期となるはずの年度末であるが、新規の問合せ件数が少ない。通信費用を抑えたいという問合せはある。
通信会社（サービス担当）	・既にほとんどの家庭が光回線を導入しているため、安い会社へ移行するための解約と新規申込みの繰り返しで、景気は変わらない気がする。

テーマパーク職員（総務担当）	・今後の状況は不透明である。
ゴルフ場（支配人）	・5～6月の予約数も各ゴルフ場共順調である。天候が良いと入場者予約数も増えてくる。5月は長い連休をいかに埋めるかが課題となるが、現時点において6月の予約数は好調に推移している。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・海外情勢が不透明である。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・消費税の引上げまでは今のまま推移する。増税後の反動減が心配である。
住宅販売会社（従業員）	・消費税引上げの影響も余りなさそうで、横ばい状態が続くと思われる。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・繁忙期が終わり客足は減少する見込みであるが、システム変更で何とか現状維持を図りたい。
商店街（代表者）	・今年に入ってから販売の不振を感じている、改元で景気が上向けば良いが、5月の連休でレジャー消費に金が回ってしまい、家電の購入にはつながらないのではないかと感じている。
商店街（代表者）	・客は1本150円の商品を1本買って2人で分け合って食べている。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価はじわじわと上がってきているし、消費税の引上げも目前に迫り、ますます余分な物は買わなくなっている。個人消費が落ち込むことは必至である。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	・平常期に入り新年度向けの受注が落ち着くと考えられる。
百貨店（経理担当）	・ゴールデンウィークの10連休は、どちらかといえばマイナスに働くと思われる。
スーパー（経営者）	・6月頃も、生活者は所得が上がらず、節約志向になっている。雇用状況は相変わらず人手不足で、経営者は良い人が集まらず困っている。米国、欧州、中国の景気が悪く、我が国の輸出にも影響を与える。社会的には景気が徐々に悪くなっていくと感じる人たちが増え、生活者は、ますます節約志向となり、消費全体として伸びないと思われる。
スーパー（店員）	・アイスクリームや清涼飲料水の値上げは、企業努力だけでは無理で値段を見直しているが、やはり消費者は敏感で購入が減っている。それを補う材料がないので、しばらくは厳しいと思われる。
スーパー（商品開発担当）	・来客数は前年98.7%で、客単価は100%ぎりぎり推移している。このまま客単価、来客数共数字が伸びないと、厳しい結果になる。
スーパー（経営企画担当）	・しばらくは、近くにオープンしたドラッグストアの影響がある。
スーパー（商品管理担当）	・春闘も予想どおりで、消費を下支えするほど賃金は上昇していない。
スーパー（営業企画）	・消費税の引上げが近くなり、消費マインドが下がるとされる。
コンビニ（店長）	・年明けから売上が減ってきている。統一地方選挙が一段落しないと何ともいえないが、景気の減速を感じるようになった。
コンビニ（店長）	・日本酒では、高価格の商品が僅かではあるが動いており、二極化の動きも少しはみられるが、売れる商品のほとんどは低価格の商品である。
コンビニ（店員）	・ゴールデンウィークは行楽や帰省のため来客数が減る。
コンビニ（商品開発担当）	・4月1日からの生活に関わる商材の値上げを受け、細かなところでの買い控えが起こると見込まれ、じわじわと売上にも響くと考える。
衣料品専門店（売場担当）	・中国経済への不安、日韓問題や英国のEU離脱問題等、景気悪化につながりそうな要素のみが目立つ。
乗用車販売店（経営者）	・4月以降は例年そうだが、客の動きは鈍い。ただし、7月以降に新型車種が発売される予定もあるので、やや悪い程度で推移すると思われる。

乗用車販売店（従業員）	・漠然とであるが、最近ずっと良いので、変わらないか、もしかしたら今よりは悪くなるのではないかと考える。競争相手も、忙しいなりに少し大丈夫かというところもあるので、何となく悪くなるかそのままかを感じる。このままもっと良くなるという楽観はできない。
乗用車販売店（従業員）	・北朝鮮の問題は、一番大きな問題として将来的に不安な要因になると思う。また、東京オリンピックがもっと盛り上がりつつもよい時期なのに、今一つ盛り上がり欠けるということは、やはり今は景気が良くない方向に向かっているのではないかと思う。
乗用車販売店（従業員）	・4月に入り、いろいろな物の値上げが発表され、高額商品である自動車には逆風が感じられる。特に点検などの維持費を省略する傾向がみられるので、しばらくは厳しい状況が続くと思われる。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・今年は、新元号が始まるということもあり、10連休の企業も多くあるので、天候にも左右されると思うが、レジャー代の方に流れるのではないかと思っている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比2.9%のマイナス、来客数は前年比0.7%のマイナスである。
高級レストラン（経営企画）	・年度替わりの法令改正、10月の消費税の引上げを控え、節約志向は一層高まり、メリハリのある消費になるとと思われる。
一般レストラン（経営者）	・世界を取り巻く経済環境が、米国を始め中国更にはEUと、どこをみても発展要素がない感じである。むしろ、今の体制がいつ極端な方向に崩れていくのか、一般の人々の不安材料になっているのではないかと思う。とりわけ中国の経済問題は大きな要因だと思われる。
都市型ホテル（経営者）	・先行きの景気の動きが気になる。
都市型ホテル（総支配人）	・ゴールデンウィークまでは宿泊予約が積み上がりつつあるが、その後は非常に弱い。アルバイトが集まらず、求人費用や時給が上がり厳しい状況である。
都市型ホテル（営業担当）	・悪くなる要素が多い。
旅行代理店（経営者）	・ゴールデンウィークになっても海外からの爆買いはなく、値上げが浸透するなかで、ますます必要最小限の物しか購入しない状況が当分続いていく。1コインの500円弁当が600円の2コインになった途端に昼の行列がなくなったことが象徴している。
旅行代理店（営業担当）	・4月からの物の値上げで、消費は落ちると思われる。余暇に充てていた金を生活費に回したりして、旅行者や旅行計画が減少するのを心配している。旅行代金も値上げに向かう方向ということなので、上期は予断を許さない状況である。
通信会社（営業担当）	・統一地方選挙等の予定があり、工事調整が難しくなり、少し悪くなると思われる。
テーマパーク（職員）	・入館者が減っている。
観光名所（案内係）	・値上げの続く新年度になりそうな気がしている。かなりいろいろなところに影響が出てきて、景気が良くなるとはとても考えられない。
パチンコ店（経営者）	・行政当局の規制強化により業界全体が薄利多売傾向になり、かつ、客離れが起きている。
理美容室（経営者）	・いろいろな物の値段が上がって、段々と世の中の景気が悪くなっていくのではないかと思う。
美容室（経営者）	・やはり人口である。当市は、特に女性の若い人口がどんどん減少して歯止めが利かない。人口が減るとすることは、景気も良くないのではないか。
住宅販売会社（従業員）	・3月の反動が出るので少し減少し、ゴールデンウィークで回復を期待する月になる。
住宅販売会社（従業員）	・外壁塗装などの経年劣化に対応する部分は、定期的なメンテナンスが必要になるが、改装工事は定期的に行うものではないので、1度で満足すると2度目には消極的になってしまう。またこれも、という話もあるが、一巡するとなくなるのではないかと不安に思う。

	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・消費税の引上げ前に見積りの依頼が増えている。相見積りとは分かっていても期待もしている。厳しい状態が続いている。
×	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・5月の連休後ということで、日常では金を使わない人が多くなると考える。
×	百貨店（業績管理担当）	・売上が苦戦しているなかで起爆剤となるような改装もなく、現状維持が精一杯である。売上ダウンを経費削減でカバーするため、店の雰囲気も上向かない。
×	観光型ホテル（経営者）	・2～3か月先の6月は非常に停滞している。選挙の関係があるかどうか分からないが、元々、当ホテルは個人よりも団体客の比率が多く、6月に団体客の動きが悪いのは例年同様だが、今年は更に悪くなっている。法人事業や団体事業が弱くなっていると考えざるを得ない。選挙の影響は計り知れないが、何となく飲食とか宿泊に向かわないような動きが出始めている気がしている。
×	理容室（経営者）	・景気の良い話はまるで出ない。余分な金は出さない。
×	設計事務所（経営者）	・取引会社の組織改編で、確実に設計の案件が激減する。
企業 動向 関連 (東海)	-	-
	食料品製造業（営業担当）	・暖かくなると基本的に毎年受注量が増える傾向である。気温に左右されるが、3月と比べると良くなる傾向にある。
	化学工業（営業担当）	・プラスチック原料価格が値下がりする。
	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・決算期での残業分で少しだけ良くなる。
	輸送業（エリア担当）	・客先の会社も適正な価格への変更を進めており、客との交渉でも納得して応じてもらえている。
	通信業（総務担当）	・国内では2025年まで大規模イベントがある。また、この4月の改元発表はイベントとして話題性が大きく、国民にはわくわく感があるため、やや良くなると見込む。
	通信業（法人営業担当）	・東京オリンピックを前に、当地域ではラグビーワールドカップ開催に向けて、企業、消費者共に明るい話題や可能性を感じる話が多くなっており、景気が回復しつつある。
	金融業（従業員）	・製造業に対しても同じようなものだとは思いますが、若干、先行きが少し良いような声をよく聞く。東京オリンピックに向けてか、いろいろな業種、特に建築なども比較的例年に比べると良さげで、かつ、見通しも若干良いという声があった。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・今より景気が良くなるなどの情報がないため、受注量、販売量共に大きな変化もなく、このままの状況が続くと思う。
	化学工業（総務秘書）	・新しい春を迎え大手企業を中心に堅調な賃上げが予定されている。改元を迎えおめでたい雰囲気とともに長期連休もある。景気にはプラス方向のトピックがそろっている。
	窯業・土石製品製造業（社員）	・取引先の中には底を打ったという会社もあるが、全体的には余り明るい話を聞かない。しばらくは現状が続くようである。
	金属製品製造業（従業員）	・しばらく忙しく、バタバタするが、利益に直結しないところが残念である。
	一般機械器具製造業（営業担当）	・自動車向けに関しては設備投資の中止や延期が続いており、明るいニュースがない。
	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量が安定推移である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・良化する要素が見当たらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・全体的に設備投資が減ってくるなかで、消費税引上げ前の駆け込みの新店等があるので、差引きで今と余り変わらないと思う。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・現時点の受注状況は悪くないが、年度が替わった後については不透明である。英国のEU離脱、米中関係など不安要素もある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・現状把握している受注残では、工作機械関係、半導体関係、設備投資等についても現状維持が継続されると思われる。
	電気機械器具製造業（総務担当）	・放送通信関連機器の需要は2020年中旬までは衰えないように思われる。ただし、消費税の引上げによる景気の冷え込みが心配である。
輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・しばらくこのまま続くようである。	

輸送業（経営者）	・10連休を控え荷主との調整に入っているが、確保できる生産力には限りがあり、出荷量を調整してもらうしかない状況である。
輸送業（エリア担当）	・燃料価格は単価当たり1円だけ高いが、前年とほぼ一緒である。荷動きもまあまあ動いているので、変わらないと思う。
輸送業（エリア担当）	・為替変動の見通しと米中貿易の動向から、変わらないと見込む。
輸送業（役員）	・消費全体はやや落ちている感があるが、10月からの消費税アップの影響もあり景気や消費が下支えされているようで、今後しばらくはこの傾向が続くと思われる。一方で10月以降の消費の落ち込みが心配である。人手不足は改善されることはなく、労働集約型産業として利用者に理解されるよう、今後の物流の在り方が問われる。
通信業（法人営業担当）	・個人の仕事量には余り増減が感じられない。景気判断に特に注意することは感じられない。
金融業（企画担当）	・個人投資家は含み益が増えてこない動きづらく、消費にも向かいづらい。個人投資家以外の個人は、所得増加の実感がなく消費に向かいづらい。
不動産業（経営者）	・4月以降は例年と比較して雨天の日が多くなると予想されており、売上は足元と同様に、前年同期100%以下で推移するとみている。
広告代理店（制作担当）	・全体的に客からはこれといった引き合いはなく、横ばいの状態が続くと思われる。
行政書士	・特別な貨物の変化はない。
公認会計士	・中堅・中小企業の生産性と収益性の向上は、簡単には解決できない。国の政策も必要と思われる。
会計事務所（職員）	・まんべんなく金を使うのではなく、メリハリをつけて使う傾向にある。可処分所得が増えているわけではないので、変わらない。
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・開発の上流工程なのでシステムエンジニアは事足りている。増員の予定もない。
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・当社においては、2年後の不況に向けた新製品の開発はほぼ終わり、より良い状態に向けての開発を行う段階になった。現状はまずまずの経営が続く。
食料品製造業（経営企画担当）	・消費税引上げを控え、消費マインドはますます冷え込むことが予測され、今年度も厳しい見込みと言わざるを得ない。
化学工業（人事担当）	・景気が悪くなる要因は、国外の要因である。米中関係、英国のEU離脱や中東情勢等がある。もしも米中が良い形で合意できれば景気は上向くかもしれないが、恐らくその可能性は低く、今後、景気は後退局面に入っていくかと思う。
鉄鋼業（経営者）	・今年の4～6月は特に稼働日が少なく、元々当地区の自動車業界ではこの四半期は受注が伸びない時期でもあり、伸びる要因が考えにくい。
金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、悪くなると考えている。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・米国と中国の景気が上昇するとは思えない。このまま少しずつ2国が悪化していくと思うので、我が国の景気も悪くなる。
建設業（役員）	・年度が替わり、ゴールデンウィークの休暇などもあり住宅に関する動きは1～2か月鈍くなるであろう。当社でも供給は抑え、ゴールデンウィーク明けからのプロモーションを強化する。
建設業（経営者）	・今の我が国では、政治のトップ、公務員のトップに信用ができない。良くなるわけがない。
輸送業（エリア担当）	・あと1か月余り後に空前絶後の10連休が控えているが、タクシー運転手は、商売あがったりの10連休だと言っていた。多くの人が仕事を休むが、観光地に向かうようなレジャーで時間をつぶす人は、それほどいないのではないかと。むしろ、ゆっくりと近場へマイカーで出掛けるというようなケースが多いのではないかと見込まれ、大きくは景気回復に結び付くようなことはないのではないかと。
不動産業（経営者）	・不動産は人口の集中する場所、特に希少地区以外は低迷すると考えられる。

	新聞販売店〔広告〕(店主)	・ネット印刷会社が3月は繁忙期ということで印刷の枚数制限などを行っているが、新聞折込チラシが増加したとは全く感じない。何を印刷して印刷物がどこにいつているのか全く把握できない。今後も折込チラシは減少していくと感じる。
	会計事務所(職員)	・法人関係で話を聞いたところ、東京オリンピック関係の影響がこの地方では薄いとのことである。公共工事を始め民間でも受注は少ない。
	x	*
雇用 関連 (東海)		-
	人材派遣業(営業担当)	・改元需要が継続し、購買意欲の向上が見込まれる。
	アウトソーシング企業(エリア担当)	・国内自動車販売数は今後上向きで推移すると予想され、海外輸出も、地域によってはばつきはあるが、おおむね上向きで推移すると見込まれる。
	人材派遣会社(経営企画)	・特に変化の予兆はない。
	人材派遣会社(企画統括)	・これといった判断材料が見当たらず、不透明である。
	求人情報製作会社(営業)	・中国経済の低迷など、外部要因の国内輸出関連企業の生産への影響が続く。製造業を中心とした雇用は、生産減少に伴う人員余剰感から新規採用を抑制する企業が増えているが、先々の不透明感から需要予測が難しい。
	職業安定所(所長)	・東京オリンピックやリニア中央新幹線関連等は、今のところ堅調であり、産業による温度差はあるが、しばらくは現状の水準が維持されるものと考えられる。
	職業安定所(職員)	・人手不足は解消する兆しはなく、現状維持が続く。
	職業安定所(次長)	・新規求人数は、高水準であるが横ばいで推移しており、大きな変化は見受けられない。
	民間職業紹介機関(営業担当)	・4月は転職希望者が停滞する時期でもあり、5月のゴールデンウィーク明け以降に、登録者の動きが再度活性化してくる見込みである。
	民間職業紹介機関(窓口担当)	・求人数は新年度の新入社員登用により一時期落ち着くため、年度末終了から就業希望の人員が余剰となり、不均衡なバランスの余波が出てくる時期となる。
	学校〔専門学校〕(就職担当)	・今月の就職活動開始時点では、前年同期の大学への求人件数と大差なく、特に今年に限った顕著な変化はみられない。
	人材派遣会社(社員)	・今月が良かった分やや悪くなる。
	人材派遣会社(営業担当)	・求職者は、より条件の良い会社への流動化が進んでいる。企業は、給与改定や交通費支給等をせざるを得ないため、人件費が高騰し、体力のある企業と人件費を抑制せざるを得ない企業とでは採用充足率に格差が生じている。
	人材派遣会社(営業担当)	・自動車関連企業からは具体的な予算削減の通達はないものの、新年度の途中からでも予算削減は起こりうるという情報も出ており、2~3か月先は景気が悪くなっている可能性がある。
	人材派遣会社(営業担当)	・世界経済について、先行きがとても不安である。
	職業安定所(次長)	・社会経済情勢の不透明感から、製造業を中心に様子見が広がっているのが懸念される。
	民間職業紹介機関(支社長)	・足元では求人企業の書類選考の通過率が段々と下がっている。
	x	*
	新聞社〔求人広告〕(営業担当)	・紹介会社を利用して人もいない状態はまだまだ続きそうで、新聞広告による求人はなくなりそうである。